

島原半島の主な交通機関のお問い合わせ先

	種目、施設名	エリア	TEL
鉄道	島原鉄道		0957-62-2232
	JR 九州長崎案内センター		095-826-4336
空港	長崎空港		0957-52-5555
	島鉄バス		0957-62-4707
バス	長崎県営バス		095-823-6155
	長崎バス		095-826-1114
	九州急行バス		095-861-7224
	島鉄フェリー		0957-61-0057
フェリー・高速船	有明フェリー		0957-78-2105
	九商フェリー		0957-62-3246
	熊本フェリー		0957-63-8008
	三池島原ライン (高速船)		0957-64-1515
	第一交通	3	0957-62-2261
タクシー	小瀬タクシー	3	0957-62-3177
	林田観光タクシー	3	0957-63-1919
	本多観光タクシー	3	0957-63-0073
	平成観光タクシー島原営業所	3	0957-62-2000
	有明タクシー	2	0957-68-1166
	小浜温泉タクシー	7	0957-74-3177
	小浜観光タクシー	7	0957-74-2619
	平成観光タクシー雲仙営業所	1	0957-73-2010
	今坂タクシー	8	0957-37-2021
	エキマエタクシー愛野営業所	8	0957-36-0039
	瑞穂タクシー	9	0957-77-3161
	国見港湾観光タクシー	2	0957-78-3246
	宮崎タクシー	3	0957-72-2057
	三潮タクシー	4	0957-72-2209
	平成観光タクシー	5	0957-82-1011
	有家タクシー	5	0957-82-2001
	三潮タクシー	5	0957-82-2814
須川タクシー	5	0957-82-2009	
橋タクシー	6	0957-84-2099	
有馬タクシー	6	0957-84-2029	
原城交通タクシー	6	0957-85-2103	
本多観光タクシー	6	0957-86-2100	
南島原交通	6	0957-87-3930	
レンタカー	トヨタレンタリース長崎島原店	3	0957-62-0100
その他	雲仙ロープウェイ	1	0957-73-3572

雲仙市



島原半島観光についてのお問い合わせ先

Inquiries about Sightseeing Information in Shimabara Peninsula

- A** (一社) 雲仙観光局 (雲仙温泉観光案内所)
〒854-0621 長崎県雲仙市小浜町雲仙 320
☎ 0957-73-3434 / ✉ unzen-onsen@unzen-dmo.com
- B** 小浜温泉観光案内所
〒854-0514 長崎県雲仙市小浜町北本町 14-39
☎ 0957-74-2672 / ホームページ <https://obama.or.jp>
- C** (株) 島原観光ビューロー (島原港観光案内所)
〒855-0861 長崎県島原市下川尻町 7-5
☎ 0957-62-3986 / ✉ gaiko@shimabaraonsen.com
- D** (一社) 南島原ひまわり観光協会
〒859-2412 長崎県南島原市南有馬町乙 1395
☎ 0957-65-6333 / ✉ kankou@himawarinet.ne.jp
- E** 島原半島ジオパーク協議会事務局
〒855-0879 長崎県島原市平成町 1-1 (雲仙岳災害記念館内)
☎ 0957-65-5540 / ✉ info@unzen-geopark.jp
- F** (一社) 島原半島観光連盟
〒855-0879 長崎県島原市平成町 1-1 (雲仙岳災害記念館内)
☎ 0957-62-0655 (月～金 8:30～17:00)

(一社) 雲仙観光局

〒854-0621 長崎県雲仙市小浜町雲仙320番地
☎ 0957-73-3434 / FAX 0957-73-2261



雲仙市観光戦略情報発信サイト
全員集合！雲仙ポータル



雲の上の避暑地 雲仙温泉

日本初の国立公園として知られる雲仙は、四季折々の自然。そして温泉街と一体化しているような雲仙地獄が魅力のエリア。雲仙はもともと「温泉」と書いて「うんげん」と読まれていた地域で、まさに雲仙は温泉そのものといえます。

温泉街に近づくくと、雲仙特有の硫黄の香りが漂います。雲仙のお湯は硫黄を含んだ強い酸性泉で殺菌効果が強く、肌を整えてくれると言われています。

温泉街には、各旅館・ホテルがそれぞれに趣向をこらした露天風呂や展望風呂などがあるほか、昔ながらの共同浴場もあり、楽しみ方はいろいろ。

雲仙は霊山、キリシタン弾圧の地、そして外国人の避暑地…と、様々な運命を歩んできました。温泉街をぶらりと散策すれば、今でもそれぞれの時代

の面影を感じることができます。歴史を重ねてきたからこそ漂う、雲仙温泉ならではの風情をお楽しみください。

雲仙温泉 小地獄温泉館



雲仙ハヤシ

Unzen Hayashi

明治時代から昭和初期にかけて、雲仙は外国人の避暑地として賑わっていました。当時、彼らに大人気だったのが、カツ丼の上にデミグラスソースをかけた「洋風丼（ハヤシライス）」。そうした歴史を踏まえ、国立公園80周年を記念して、雲仙温泉街の各ホテルや飲食店がご当地グルメとして生み出したのが「雲仙ハヤシ」です。

ひと口に「雲仙ハヤシ」といっても、そのバリエーションは実に様々。ところどころの卵でオムライズ風に仕上げたものや、雲仙牛や長崎牛を使ったものなど、各店のセンスが光ります。とっておきの一品を見つけてください。



夕日輝く 海辺の小浜温泉

雲仙岳のふもと、橋湾に面した海辺に湧く小浜温泉は、なんと日本一の熱量を誇ります。熱量とは温泉の温度と湯量によって決まるもので、小浜温泉は約30ヶ所の源泉から105度のお湯が豊富に湧き出ており、町のいたる所で湯けむりが立ち昇っています。泉質は塩化物泉で、湯上りはいつまでも体がポカポカと、温かさが続くのが特徴です。

小浜温泉の魅力は、なんといっても海に沈む夕日。その美しさに感動した斎藤茂吉は「ここに来て落日を見るを常とせり海の落日も忘れざるべし」という歌を詠み、温泉街にはその歌碑が建っています。また種田山頭火の歌碑

には「さびしくなれば湯かわわいてある」という句が刻まれており、この地が文人たちの心を魅了したことが伝わってきます。小浜の夕景は温泉に浸かりながら楽しむ、というのが醍醐味。一日の疲れを癒すべく、沈みゆく夕日とともに日本一の湯を楽しみたいものです。



小浜温泉 海上露天風呂「茜」からの夕日

蒸し釜料理

Mushigama

日本一長い足湯「ほつとろくろ」105°のそばには、誰もがセルフサービスで使える「蒸し釜」があります。卵などの食材を竹かごに入れておけば、温泉の蒸気で美味しく蒸し上がるため、足湯に浸かっている間に利用するのがおすすめです。

また小浜では蒸し釜専門の飲食店もあり、様々な食材を蒸すことができます。店内には島原半

島でとれた季節野菜をはじめ、バラエティー豊かな食材がスラリ。中でも目の前の橋湾で水揚げされた魚介類のラインナップは圧巻で、カニ、アワビ、サザエ、うちわ海老、はまぐり……と質沢に並びます。新鮮な食材を日本一の熱量で蒸し上げる蒸し釜料理。その美味しさは格別です。

行くといつも
違う景色を
見せてくれる。

四季折々、豊かにその表情を変える雲仙。春はミヤマキリシマが山肌をピンク色に染め、夏は緑の中に真っ白なヤマボウシが可憐に咲き誇ります。また秋には赤や黄色に色付いた木々がまるで海中のサンゴの様な美景を創り出し、冬には霧水によって神秘的な白銀の世界が広がります。いつ訪れても何度訪れても、魅力あふれる自然が待っている、それが雲仙です。



雲仙普賢岳と平成新山

雲仙岳の主峰のひとつである「普賢岳」山頂からは「平成新山」を正面に、間近で見ることができ。平成新山は1991年5月20日から約5年間続いた溶岩の噴出により誕生した山で、日本で一番新しい山だ。



雲仙仁田峠

5月中旬頃からツツジ、秋には紅葉、冬には霧氷と、四季折々の自然を楽しめる人気スポット。標高1333mの妙見岳までは雲仙ロープウェイに乗って、気軽に空中散歩を楽しもう。



冬/花ぼうろ(霧氷) 春/ミヤマキリシマ 夏/ヤマボウシ 秋/雲仙普賢岳紅葉樹林



立岩の峰 積み上がった巨石や、そこに生いづく希少な植物など、迫力の風景が望める。



雲仙普賢岳
新登山道

2015年、雲仙普賢岳の新登山道が開通しました。新登山道は1990年の普賢岳噴火に伴い警戒区域に指定されていたルートを新たに整備したものです。新登山道の開通により、普賢岳登山の魅力はさらにパワーアップし、多くの人がトレッキングを楽しんでいます。

新登山道には見どころがいっぱいです。高温の溶岩が冷えて固まる過程で出来た「西の風穴」や「北の風穴」は、雲仙火山の歴史を感じるスポット。また海が広がる大パノラマを楽しめる「鳩穴分かれ」など、それぞれの場所で自然を満喫することができます。

とはいえ最も大きな魅力は、やはり「平成新山」を間近で見られること。目の前で迫力ある大自然を体感できるのは、新登山道の醍醐味といえます。

また季節ごとに咲く普賢岳固有の花々も必見。ダイナミックな平成新山と、四季を彩る植物たち。新登山道ではその両方を楽しむことができます。

たつぷり汗をかいた後は、温泉でゆっくりに...というのも、普賢岳登山ならではの楽しみ方です。



湯せんぺい

小麦粉、砂糖、卵に温泉水を練り込んで焼き上げるシンプルなお菓子。ほんのり甘く、サクサクとした軽い食感が特徴で、古風な地図をあしらったパッケージが目印。



湯せんぺい手焼き体験

焼き方の手ほどきはもちろん、原料の説明から湯せんぺいの歴史まで、たっぷり学べる人気の体験メニュー。焼き上げた湯せんぺいはお土産として持ち帰ることができます。

■ 遠江屋本舗 TEL0957-73-2155
 ※ 有料 (要予約)
 ※ 現在は体験を見合わせております。

島原半島の中央に位置する雲仙は、日本が国号を「日本」とした大宝律令成立の701年に開山したと言われていました。後に、温泉街エリアは山岳信仰や仏教の修行地となり、キリスト教とも縁を持った後、外国人の避暑地として栄えました。少し温泉街を散策するだけで、当時を思わせる景色や豊かな自然を楽しむことができます。のんびりとした時間を雲仙温泉でお過ごしください。

雲仙地獄めぐり

雲仙温泉を代表する観光名所・雲仙地獄。「大叫喚地獄」や「お糸地獄」など、30余りの地獄からなり、それらを巡ることを「地獄めぐり」という。高温の温泉と噴気が激しく噴き出し、強い硫黄臭を漂よわせながら湯けむりをもうもうと立たせる様は、まさに地獄の景色。「雲仙地獄茶屋」では地熱を体感できるほか、温泉たまごを味わうことができます。



地獄めぐりの際にぜひいただきたいのが名物の「温泉たまご」。地獄から吹き出る高温の蒸気で作る蒸し卵は、硫黄の香りがふわりと漂う地獄らしい味覚だ。



自然に寄り添い
 特異な歴史をもつ
 雲の上の避暑地。



雲仙温泉街の寺社

雲仙岳は、山岳信仰やキリスト教などに関わりの深い霊山だった。雲仙温泉街内にも、古くから島原半島一帯の祈願所として知られていた温泉(うせん)神社の総本山や、雲仙開山と関わる寺など、エリアの歴史を感じられるスポットが現在も地域に大切にされている。



雲仙焼体験

大正時代より雲仙の地で代々伝わってきた雲仙岳の火山灰を釉薬とする雲仙焼。温泉街内にある窯元での体験では、マグカップや皿などを丁寧な指導のもと製作。体験で作った焼き物は後日、旅の思い出として自宅に届けられる。

■ 雲仙焼 TEL080-6970-3532
 ※ 有料 (送料別)
 ※ 不定休



ガラス作り体験

九州一といわれるアンティークガラスの美術館「雲仙ビードロ美術館」。江戸期の長崎ビードロ、ポヘミアンガラスなどを多数展示し、ガラス作りの体験ができるほか、季節ごとに見応えある企画展も開催する。

■ 雲仙ビードロ美術館 TEL0957-73-3133
 ※ 有料 ※ 9時30分~17時 (入館受付は16時40分まで)
 ※ 水曜日、上部QRコードからHPをご確認ください。



かつて外国人避暑地として賑わった雲仙。当時、外国人たちに愛飲されていたレモネードを復刻したのが「温泉レモネード」。ほのかに香るレモンの風味と微炭酸の優しい味わいが魅力だ。

私がご案内します!



雲仙ガイド「さるふぁ」 TEL090-4489-4487



温泉やその蒸気
熱を利用する
小浜のグルメたち。

温泉蒸し料理

日本一の熱さを誇る105℃の源泉を利用する「温泉蒸し料理」は、島原半島でも小浜温泉ならではの。温泉蒸しにした食材は、ヘルシーなのはもちろん、塩泉の蒸気のためか、不思議と甘みを感じる仕上がり。小浜温泉街にはこの蒸し料理を楽しめる飲食店などがある。



熟成黒玉子

小浜温泉街でも有数の濃い温泉を使って丁寧に作られる「熟成黒玉子」。見た目のインパクトばかりでなく、玉子に味が染みてしまうほどの濃厚な仕上がりは衝撃。しっとりとした食感にはクセになる美味しさだ。

小浜ちゃんぽん

長崎生まれ、橘湾を渡って島原半島へ訪れていた湯治客によって小浜温泉に伝わって100年以上。独自の進化を遂げたあっさりスープに沢山の具、殻つき小エビが特徴の「小浜温泉のソウルフード」となった。店ごとに工夫を凝らしたちゃんぽんが味わえる。

MAP ③ほっとふっと105

小浜温泉の源泉温度にちなんだ長さ105mの「日本一長い足湯」は、年間約15万人が訪れる人気スポット。夕暮れ時には、足湯に浸かりながら夕日を楽しむのがおすすめ。源泉を利用した階接の「貸し蒸し釜」は、蒸し籠をレンタルでき、誰でも利用が可能だ。



初夏のジャカランダ



紅葉が美しい「三十路苑」



生目八幡神社からの眺望

小浜温泉は、6月に紫色の美しい花を咲かせる「ジャカランダ」、秋は紅葉の名所「三十路苑」がおすすめ。また、温泉街を一望できる「生目八幡神社」も人気のスポットで、このほかにも小浜温泉の景色を楽しむスポットが沢山。

実は同じじゃない!? 湯せんぺいのここに注目!



小浜温泉、雲仙温泉で親しまれる銘菓「湯せんぺい」。湯せんぺいの包装や模様がそれぞれ違うのはご存じですか? 包装は2種類あり、円柱は小浜温泉、六角柱は雲仙温泉のもの。また、せんぺいの中央上部にあるマークは店ごとに違うため、一目でどの商品かが分かります。いろいろめぐって、ぜひお気に入りを見つけてみて。

古民家スポット

ショップ兼カフェの「刈水庵」、草木染め工房の「アイアカネ工房」、そのコンセプトショップである「アイアカネ商店」など、地域の古民家を活用した店舗が並ぶ。



①上の川湧水のように、温泉街には水も湧いている。

②ポコポコと音を立てて湧き出している、小浜温泉唯一の冷泉である「炭酸泉」。

自分を大切にできるひととき Obama Karimizu

刈水地区

おしゃれなカフェやショップがオープンして温泉街の「裏通り」が進化中。のんびりお茶をしたり、草木染めの体験をしたり... 忙しい日々を離れ、路地を散策しながら自分のための時間に癒されて。

黄色の列車が走る

北部エリアの風景。



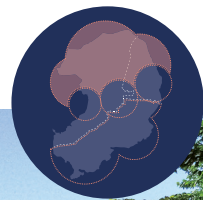
●ぼっばや茶葉の「茶っ葉グリーンカレー」



●みずほ温泉千年の湯

島原鉄道、各駅周辺の楽しみ

島原半島北岸を走る島原鉄道「古部駅」正面で営業する「ぼっばや茶葉」は、雲仙茶を使ったメニューを提供するカフェ。自社農園栽培の茶葉も販売する。「西郷駅」が最寄りとなる「千年の湯」は北部エリアにある温泉の一つで、檜風呂やサウナを完備している。



MAPNo. たしるばる ④ 田代原トレイルセンター・キャンプ場

春はミヤマキリシマ、初夏は白いヤマボウシの群生のほか、秋の紅葉が美しい田代原。雲仙温泉街へも車で15分と近く、夏から秋にかけてはキャンプやトレッキングを楽しめる。高原内にはトレイルセンターも併設。豊かな自然に癒されてみて。



■ 田代原トレイルセンター(5月～11月) TEL0957-78-0441
田代原キャンプ場(5～10月) TEL0957-78-2331
雲仙市観光物産課(上記期間外) TEL0957-38-3111



MAPNo. ひゃっかだい ⑤ 百花台公園

遊戯施設、スポーツ施設、森林公園が揃った総合公園。敷地内には芝生広場をはじめ、ローラースライダーなど人気の遊具のほか、テニス、サッカーなどが楽しめるスポーツレクリエーション施設も充実。春には桜も美しい場所だ。



■ 百花台公園管理事務所 TEL0957-78-3545



北部エリア 地図



販売はかもめが飛来する11月～4月限定



MAPNo. ⑥ 有明フェリーとかもめ

島原半島の多比良港と熊本県長洲港を繋ぎ、島原半島北部エリア海上交通を担う「有明フェリー」。この航路船上では、「かもめパン」と名付けられた無添加のパンで、冬は人懐こいカモメ達への餌付けができる。



鍋島邸と庭園(一部)



御蔵町



夏の神代小路

MAPNo. こうじろくじ ③ 神代小路・鍋島邸

■ 雲仙市国見神代小路歴史文化公園鍋島邸 TEL0957-61-7778
■ 有料 10時～17時
■ 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日) 年末年始



国見町の神代小路は江戸期の面影が色濃く残るエリア。17世紀後期、佐賀藩・神代領の主鍋島氏が造ったまちで、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。神代小路で一際存在感を放っているのが、鍋島氏の旧屋敷である「鍋島邸」。鍋島邸は広大な庭園も魅力。枯山水様式の庭園では、2月中旬から3月上旬には緋寒桜が見頃を迎え、春にはツツジと季節の花々が彩を添えます。時が止まる場所・神代小路で、歴史に思いを馳せてみませんか。



多比良ガネ

「ガザニ」と呼ばれるワタリガニのことを指し、獲れる場所から「多比良ガネ」と呼ばれるようになりました。夏から秋にかけて旬を迎えますが、一年中美味しく食べられる有明海の名物です。プリプリした食感と濃厚な力2の風味が特徴で、塩ゆでし、温かいうちにといただくのが定番。また飲食店では、「ガネ汁」と呼ばれるガネ入りの味噌汁や、懐石料理なども味わえます。



MAPNo. 3 橋神社・橋公園

神社は昭和15年全国の奉賛を得て建立、壮麗な社殿、広大な神域。九州一と言われる高さ9.7mの御影石の大鳥居、勾欄造りの軍神橋等は大変有名。大門松が飾られる正月の初詣、800本の桜が咲き誇る春は参拝客で参道や境内を埋め尽くします。

橋神社
TEL0957-37-2538



MAPNo. まきば 4 牧場の里あづま

吾妻岳の中腹、標高400mに広がる吾妻岳牧野を利用した休養地。草を食べる放牧された牛、万里の長城を思わせる全長480mの遊歩道からは、有明海や橋湾など雄大な自然が一望できます。また、施設内の広大な「花の丘広場」は3月頃に菜の花が咲き10月中旬から下旬になるとコスモスが咲いており、ドライブコースにはぴったりです。

雲仙市財産管理課
TEL0957-38-3111



MAPNo. 5 風車

愛野町のじゃがいも畑の中にある風車。夕日が沈む時間になると、じゃがいも畑に一本そびえる風車が、趣きある風景になります。風車の下には駐車場もあります。

雲仙市財産管理課
TEL0957-38-3111



MAPNo. 1 国崎半島自然公園

県立自然公園に指定されている細長い半島。浜木綿(ハマコウ)などの亜熱帯植物や海浜植物が群生しています。眺望が素晴らしく、雲仙岳、長崎半島・天草などを一望できます。

雲仙市財産管理課 TEL0957-38-3111



じゃがちゃん

MAPNo. 2 千々石展望台

日本景観100選に選ばれた橋湾を一望できる展望台。ここでしか食べることのできない名物「じゃがちゃん」はいつも揚げたてが販売されており、外はカリッ！中はアツアツホクホクのじゃがいもで、景色を眺めながら食べるじゃがちゃんは最高です。

千々石観光センター
TEL0957-37-2254



温泉日帰り入浴・宿泊施設一覧

♨️ 温泉の提供がある 日 日帰り入浴対応可能 宿 宿泊可能

雲仙市内の日帰り入浴対応温泉施設、宿泊施設一覧です。
ご利用の際は、お電話にて事前のお問い合わせをおすすめいたします。

地図No.、施設名	区分	TEL
01 東園	♨️ 宿	0957-73-2588
02 雲仙いわき旅館	♨️ 宿	0957-73-3338
03 雲仙観光ホテル	♨️ 宿	0957-73-3263
04 雲仙九州ホテル	♨️ 宿	0957-73-3234
05 雲仙スカイホテル	♨️ 日 宿	0957-73-3345
06 雲仙福田屋	♨️ 日 宿	0957-73-2151
07 雲仙宮崎旅館	♨️ 宿	0957-73-3331
08 界 雲仙	♨️ 宿	050-3134-8092
09 大江戸温泉物語雲仙東洋館	♨️ 日 宿	050-3615-3456
10 ゆやど雲仙新湯	♨️ 宿	0957-73-3301
11 旅亭 半水庵	♨️ 宿	0957-73-2111
12 雲仙温泉 青雲荘	♨️ 日 宿	0957-73-3273
13 丸登屋旅館	♨️ 日	0957-73-3457
14 民宿 雲仙	宿	0957-73-3525
15 民宿 進藤	宿	0957-73-2323
16 民宿 関荘	宿	0957-73-3477
17 ゲストハウス TSUDO I	宿	0957-60-4225
18 素泊まりのやど 森の家	宿	0957-73-3541
19 雲仙よか湯	♨️ 日 宿	0957-73-2003
20 ちょこつとよかゆ	♨️ 日	0957-73-2004
21 小地獄温泉館	♨️ 日	0957-73-3273
22 新湯温泉館	♨️ 日	0957-73-3233
23 湯の里共同浴場	♨️ 日	080-5286-2576

雲仙温泉「泉質」硫黄泉

地図No.、施設名	区分	TEL
24 伊勢屋	♨️ 日 宿	0957-74-2121
25 WELINA	♨️ 宿	0957-76-0881
26 小浜タウンホテル	宿	0957-74-3590
27 小浜ビジネスホテル	♨️ 宿	0957-75-0331
28 オレンジ・ベイ	♨️ 宿	0957-76-0881
29 くつろぎの宿 旅館 山田屋	♨️ 日 宿	0957-75-0505
30 ジスコホテル小浜温泉	♨️ 宿	0957-74-2222
31 寿楽	♨️ 日 宿	0957-76-0660
33 つたや旅館	♨️ 日 宿	0957-74-2134
34 浜観ホテル	♨️ 宿	0957-74-2222
35 福徳屋旅館	♨️ 日 宿	0957-74-2181
36 むつみの宿 旅館 和多屋	♨️ 日 宿	0957-74-2234
37 湯宿 蒸気家	♨️ 日 宿	0957-74-2101
38 旅館 國崎	♨️ 日 宿	0957-74-3500
39 旅館 富士屋	♨️ 宿	0957-74-2155
40 旅館 ゆのか	♨️ 日 宿	0957-75-0100
41 COCOHARE	♨️ 宿	TELなし ネット予約のみ
42 海上露天風呂波の湯「茜」	♨️ 日	0957-76-0883
43 浜の湯共同浴場	♨️ 日	0957-38-3111 (市環境政策課)
44 YUASOBI	♨️ 日	0957-76-0883
45 湯処 よしちょう	♨️ 日	0957-75-0107
46 脇浜温泉浴場	♨️ 日	0957-74-3402
47 天川屋別館	宿	0957-37-3196
48 長崎県立千々石少年自然の家	宿	0957-37-2769
49 レストハウス森のしらべ	日 宿	0957-37-6556
50 春日屋旅館	宿	0957-36-0118
51 ホテル AZ 長崎雲仙店	宿	0957-77-4401
52 みずほすこやかランドふれあい会館	♨️ 日 宿	0957-77-4111
53 観月荘	宿	0957-78-2027
54 末廣旅館	宿	0957-78-2716
55 旅館 松栄	宿	0957-78-2719
56 遊学の館	日 宿	0957-78-3331
57 奥雲仙寿妙院	宿	0957-78-3521
58 TOKITOKI	宿	090-9762-3525

小浜温泉「泉質」塩化物泉

北部エリア「泉質」塩泉など

※東園、半水庵、海上露天風呂波の湯「茜」、YUASOBI、レストハウス森のしらべの日帰り入浴は要予約です。



島原半島交通ガイド

三方を海で囲まれた島原半島は、たくさんの交通手段があります。

▼ 航路

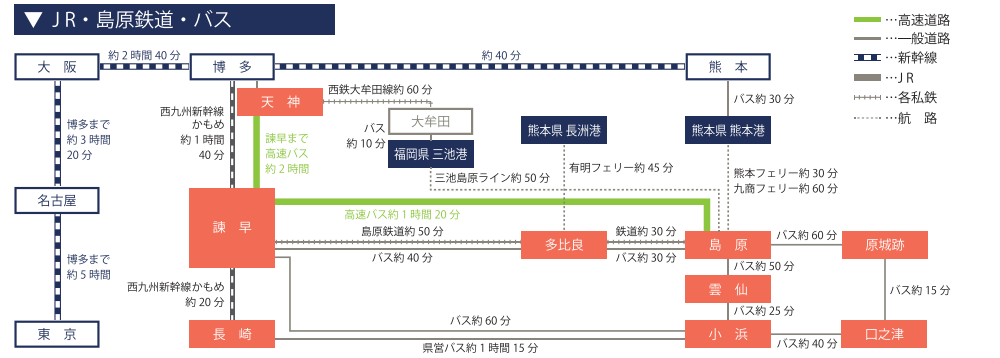
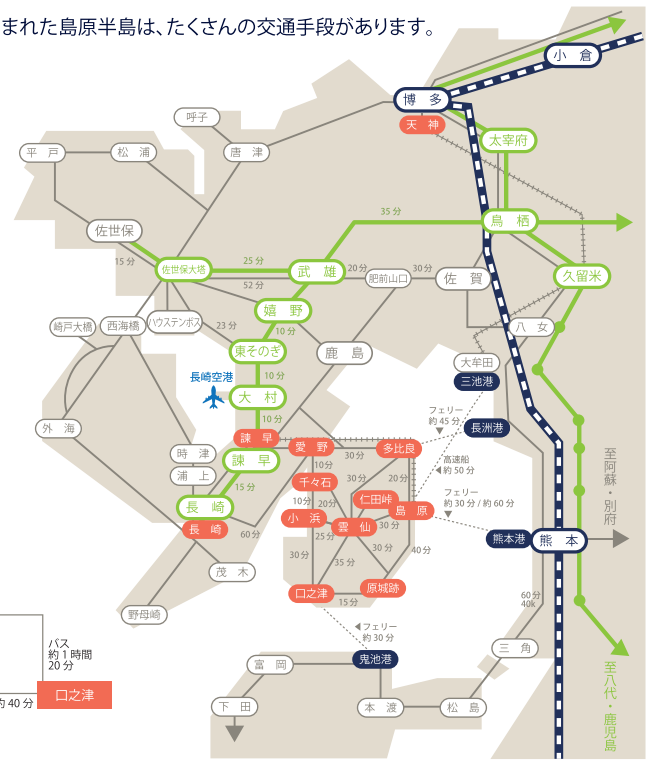
熊本県 長洲港	有明フェリー約45分	多比良港
福岡県 三池港	三池島原ライン約50分	島原港
熊本県 熊本港	熊本フェリー約30分 九商フェリー約60分	島原港
熊本県 鬼池港	島嶽フェリー約30分	口之津港

▼ マイカー

福岡県 太宰府IC	約50分	島原
諫早IC	約20分	島原
長崎IC	約60分	島原
愛野	約50分	口之津
諫早	約30分	雲仙
長崎	約25分	小浜

▼ 飛行機・バス

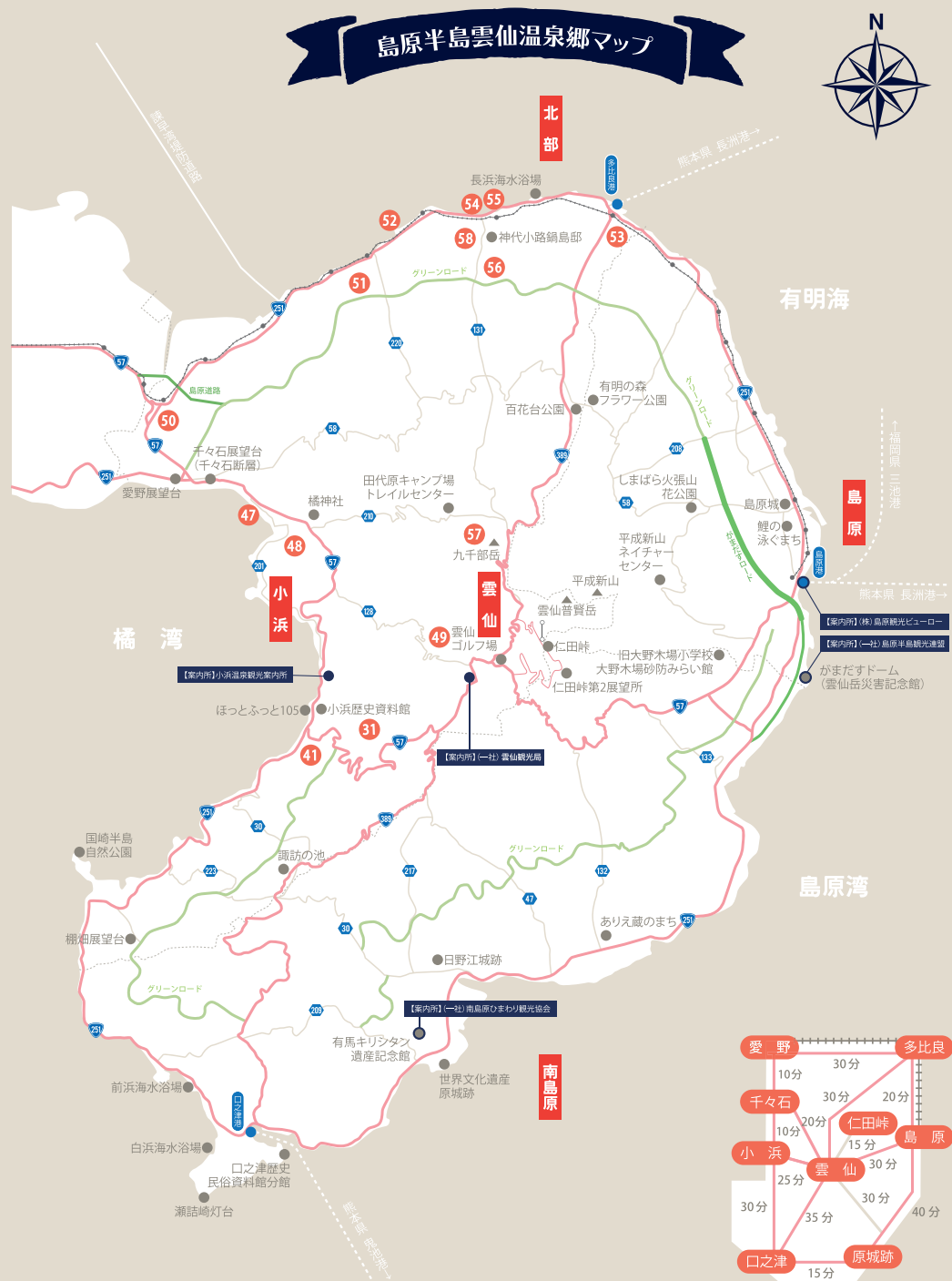
東京	約1時間50分	島原
名古屋	約1時間25分	島原
大阪	約1時間10分	島原
長崎空港	バス約40分	島原
長崎	バス約60分	島原
小浜	バス約40分	島原
雲仙	バス約25分	島原



※掲載の情報は2022/11当時のものです。変更となる場合がございますので予めご了承ください。



島原半島雲仙温泉郷マップ



愛野	30分	多比良
千々石	30分	20分
小浜	10分	20分
雲仙	25分	30分
口之津	30分	15分
原城跡	30分	40分
仁田峠	15分	30分
島原	15分	30分